



庄内海岸林の再生に向けた寄附のお願い

□ 庄内海岸林とは？

- 庄内海岸林は、飛砂対策などのために江戸時代から造成されてきたクロマツの人工林で、延長約33km、面積約2,600haと、日本有数の規模を有しています
- 現在では、人々の暮らしを守るとともに、多様な生態系や庄内らしい景観を形成し、地域にとって重要な役割を担っています



□ 庄内海岸林の荒廃とこれまでの取組

- 庄内海岸林は、かつて燃料や木材の採取の場としても利用されていましたが、生活様式の変化などにより、管理が十分に行われなくなりました
- さらに、昭和50年代以降、松くい虫による松枯れ被害が発生し、荒廃が進んできました

✓ 松くい虫被害とは？

- 「マツノマダラカミキリ」に寄生する「マツノザイセンチュウ」がマツの木に侵入し、水分の通り道をふさぐことで被害が発生します
- センチュウを保有したカミキリが移動とマツへの産卵を繰り返すことで被害が拡大しました



✓ 被害対策と保全活動の取組

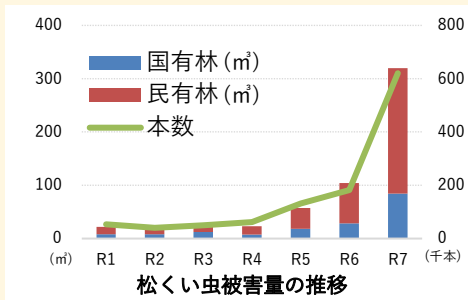
- 被害対策として、行政による、カミキリの殺虫のための薬剤散布や被害木の伐倒駆除、病気に強い苗木の開発などの取組が行われてきました
- また、地域のボランティア団体等が庄内海岸林の保全活動を行うなど、官民が連携しながら取組が進められてきました



薬剤散布、伐倒駆除の取組（林野庁HPより）

□ 松くい虫被害の深刻化と再生に向けた取組

- これまで長年にわたり対策が進められてきましたが、近年は記録的な高温少雨などの影響により被害が深刻化し、庄内海岸林を次世代へ引き継ぐことが難しい状況にあります



松くい虫による被害状況（R7.10月撮影）

- これを受け、令和8年3月、行政、地元関係団体、研究機関等を構成員とした「庄内海岸林再生プロジェクト会議」が設立され、庄内海岸林の再生に向け、地域が一体となった取組を進めています

➡ 取組の詳細は、QRコードから県ホームページをご覧ください



裏面を
ご覧ください

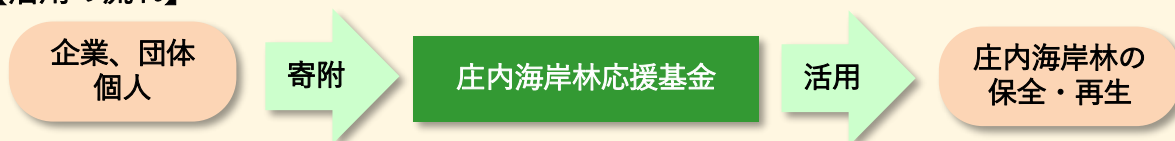
□ 寄附募集の目的

- 荒廃した庄内海岸林を健全な姿に再生し、多面的な機能を維持していくには、長期的かつ継続的な取組が必要となります
- この取組を支えるためには、行政のみならず、県外を含めた企業や団体などの幅広い方々からのご理解とご支援が必要であり、趣旨に賛同いただける方からの寄附を募集しています

□ 寄附の仕組みと使途について

- いただいた寄附は、「庄内海岸林応援基金」に積み立てられます
- 本基金は、条例で「庄内海岸林の保全及び再生に係る活動への支援、その活動を支える気運の醸成等の施策の実施に要する経費に充てる場合に限り、処分することができる」と定められており、庄内海岸林の保全及び再生に必要な取組に活用させていただきます

【活用の流れ】



※基金の活用実績は県ホームページで公開

□ 寄附に関する手続き

- 「寄附申出書」によりお申し出いただいた後、「寄附納入書」を発行します
- その後、山形県へ納付できる金融機関からお振込みいただきます

➡ 詳細は、QRコードから県ホームページをご覧ください



✓ \ 庄内海岸林サポーターを募集しています！ /

◆ 庄内海岸林の再生を支える取組

- ・ 庄内海岸林の保全及び再生に向けた活動の輪を広げ、気運を高めることを目的に「庄内海岸林サポーター制度」を創設しました
- ・ 寄附のみならず、植樹・育林活動や広報・普及啓発など、さまざまな活動を通じて取組を支えていただく制度です
- ・ この取組に賛同し、サポーターとして登録いただける企業・団体を募集しています
ぜひ一緒に庄内海岸林の未来を守る活動に参加しませんか？

◆ サポーターが行う主な活動内容（いずれか1項目以上）

1. 実践的な活動

植樹・育林活動の実施、学習イベントの開催など

2. 金銭的な支援

再生の取組に対する寄附、募金活動の実施など

3. 広報・普及啓発

Webサイトや広報誌などでの情報発信活動の実施など

◆ 登録のメリット

- ・ 庄内海岸林サポーター登録証を交付
- ・ 県ホームページでの取組内容の紹介
- ・ 環境貢献企業、団体としての社会的信頼向上

◆ 登録の手続き

「やまがたe申請」から申請いただきます。詳細は県ホームページをご覧ください。

